

【アゼルバイジャン経済トピック第 177 号】

在アゼルバイジャン日本大使館

2025年 2 月 12 日

アゼルバイジャンへの入国者数(2024年)

コロナ関連の規制も解け、人々の往来も元の状態に戻ってきています。アゼルバイジャン政府は未だに陸路からの入国制限を継続しているものの、観光誘致戦略の展開を続けており、更なる観光客の増加を狙っています。

国家国境庁によると、昨 2024年は、世界 196か国からおよそ 262万の外国人がアゼルバイジャンを訪れました。前年の208万人から25.9%増加しており、コロナ禍以前に記録された入国者数ピーク(2019年、317万人)に着実に近づいています(図1参照)。また、来訪者の国籍も昨年の187か国から 196か国に増加しており、昨年 11月に当地バクーで開催された COP29の影響がうかがえます。

表1は直近5年のアゼルバイジャンへの入国者上位国の表です。2024年も上位2カ国は2021年から継続してロシア、トルコですが、前年比 2 倍増加のインドがイランを抜き3位となりました。

また、東アジアに関しては、中国及び韓国が前年比 1.9 倍の増加を見たことが注目されます。中国とは、元々バクー・北京直行便があるほか、バクーから中国の地方都市への直行便の新設が検討されています。また、韓国に関しては、アゼルバイジャン航空(AZAL)が今年 5 月からバクー・ソウル間の直行便を就航させる予定です。これに対し、日本は、アゼルバイジャンとの間の人的往来において、まだまだ発展・拡大の余地があります。両国の相互理解・相互信頼を進展させる基盤となる人の往来を更に活性化させるべく、当館としても様々な取組みを進めていく考えです。

(以上)

図1. アゼルバイジャンへの入国者数
(2015～2024年 出典:国家統計委員会)

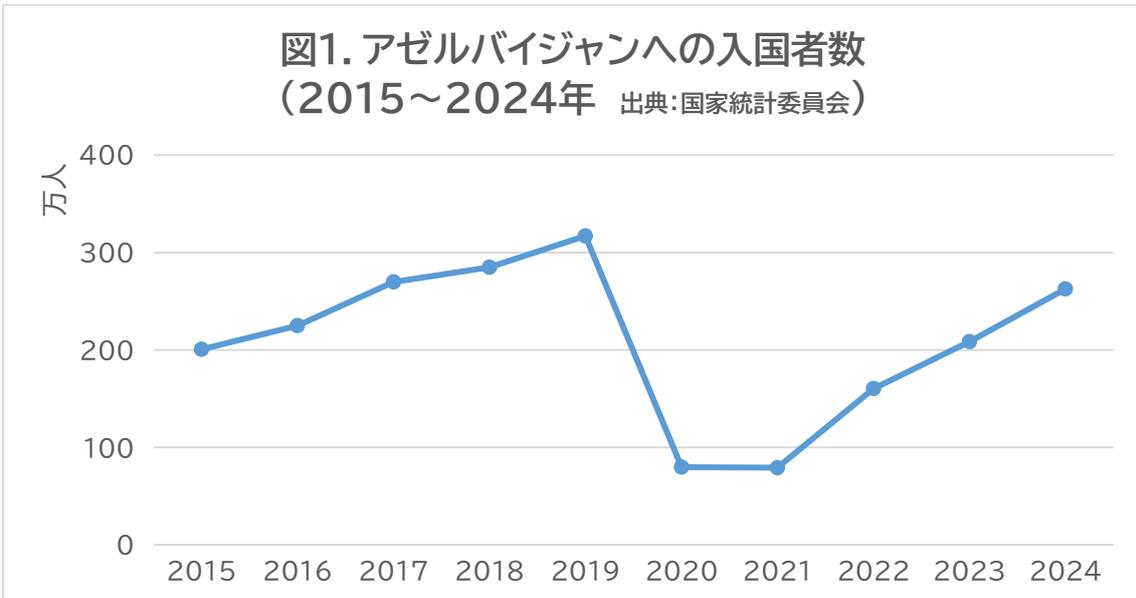


表1. アゼルバイジャンへの入国者数上位5カ国(2020～2024年 出典:国家統計委員会)

順位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
1位	ロシア	ロシア	ロシア	ロシア	ロシア
2位	ジョージア	トルコ	トルコ	トルコ	トルコ
3位	トルコ	イラン	イラン	イラン	インド
4位	イラン	ジョージア	サウジアラビア	インド	イラン
5位	ウクライナ	ウクライナ	ジョージア	ジョージア	ジョージア